学校番号	３０１３

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ　新訂版」（大修館書店）						
副教材等	『意味から習得－音訓別－重要頻出漢字　リアルマスター3300』（尚文出版） 『改訂増補版　最新国語便覧』（浜島書店） 『評論速読トレーニング 2000』（数研出版） 『新版三訂ニューエイジ現代文達成 2＋』（第一学習社） 『読み・書き・覚える日本文学史必携』（第一学習社） 『大学入試国語頻出問題１２００　四訂版』（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生ではこれまで習ってきたことを駆使し、より難解な文章を読解できる力を身につけます。
・様々な文章を「読む力」はもちろん、コミュニケーションのための「話す・聞く力」や意図を伝えるための「書く力」を身につけていきましょう。
・文章読解の基本は論理的に読むことです。論理的に読むためにはどうすれば良いのかを、授業中はもちろん、自分で勉強するときにも意識しましょう。
・論理的であることは話すときや書くときにも必要です。自分の意図を齟齬なく相手に伝えるために、論理的に伝えることを意識しましょう。
・提出物は上記の力を身につけるためのものです。その目的を忘れずにやりましょう。
・毎回の授業が受験勉強だと思ってしっかり臨みましょう。

２　学習の到達目標

・言葉の様々な特質について理解し、目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・論理的な思考によって、文章の内容や構成を的確に把握することができる。
・人間関係において互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （グループワークや発表等でのパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	倫理と心理	教材: 「こころは見える？」	○	○	○	◎	○	a:論理的な読解方法について確認し、文章の道筋を的確にとらえようとしている。また、考えたことについて進んで伝え合おうとしている。 b: 筆者の問題意識に対して自分自身に引きつけ、考えを深める。 c:自分の考えについて、適切な語句、表現を用いて書いている。 d:発想の転換から導かれる論理展開を正確に読み取る。 e:語句や漢字について正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	虚構と象徴	教材: 「美神」	○	○	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているかを捉え、その表現が果たしている効果に気付こうとしている。また、考えたことについて進んで伝え合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 c:自分の考えについて、適切な語句、表現を用いて書いている。 d:表現の効果や言葉の深さに気付き、物語の展開を理解し、小説のおもしろさを味わう。 e:語句や漢字について正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。また、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	文化と美・社会を担う	教材: 「実体の美と状況の美」 「「である」ことと「する」こと」	○	○	◎	○	○	a:論理的な読解方法について確認し、文章の道筋を的確にとらえようとしている。 B 日本人の美意識について考え、話し合っている。 c: 日本の「近代」のあり方について、適切な語句、表現を用いて書いている。 d: 文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。 e:語句や漢字について正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期	こころに触れる・ことばを味わう	教材: 「待つ」 短歌 十三首	○	◎	○	○	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているかを捉え、その表現が果たしている効果に気付こうとしている。 b: 登場人物の複雑な心理を読み取り、作者が何を描こうとしたのかを考え、相対化したりして話し合っている。 c:自分の考えについて、適切な語句、表現を用いて書いている。 d:表現の効果や言葉の深さに気付いている。 e: 短歌独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	言語と世界・時間と歴史	教材: 「猫は後悔するか」 「無常ということ」	○	○	◎	○	○	a:論理的な読解方法について確認し、文章の道筋を的確にとらえようとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し話し合っている。 c:自分の考えについて、適切な語句、表現を用いて書いている。 d:筆者の主張や内容をとらえ、歴史や古典に言及した筆者の態度を検討し、現代人批判について考える。 e:語句や漢字について正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。